



平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月9日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4996 URL http://www.kumiai-chem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036  
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年10月期第1四半期の連結業績 (平成28年11月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	12,468	△24.0	167	△85.9	1,332	△21.3	1,017	△16.9
28年10月期第1四半期	16,410	5.4	1,190	4.5	1,691	△0.5	1,224	△24.2

(注) 包括利益 29年10月期第1四半期 1,727百万円( -%) 28年10月期第1四半期 △396百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	12.80	—
28年10月期第1四半期	15.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第1四半期	92,731	58,302	59.1
28年10月期	83,608	57,264	64.4

(参考) 自己資本 29年10月期第1四半期 54,758百万円 28年10月期 53,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	—	—	8.00	8.00
29年10月期	—	—	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月期の配当予想につきましては、中間配当、期末及び年間の配当予想額は平成29年5月1日に予定しているイハラケミカル工業株式会社との経営統合後の業績の見通しを精査した上で検討する必要があるため、未定であります。

3. 平成29年10月期の連結業績予想 (平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,700	△15.8	2,200	△35.3	3,600	△17.4	2,600	△15.4	32.72
通期	63,000	0.7	2,000	△11.8	4,100	△8.4	3,100	△9.4	39.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年12月16日に公表しましたとおり、平成29年5月1日付で当社はイハラケミカル工業株式会社と合併する予定ですが、業績予想に本合併による影響は織り込んでおりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年10月期1Q	86,977,709株	28年10月期	86,977,709株
② 期末自己株式数	29年10月期1Q	7,506,241株	28年10月期	7,505,990株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年10月期1Q	79,471,590株	28年10月期1Q	79,472,242株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が好調に推移するなかで緩やかな回復基調が続いているとみられるものの、米国新政権の金融政策運営の不安定な動向や英国のEU離脱問題など、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような情勢の下、当グループは、i) 持続的成長の維持、ii) 企業体質の強化、iii) 研究開発の促進、iv) 海外事業展開の推進、v) 人材の育成と組織の強化の5つを重要方針として掲げ、事業を進めてまいりました。また、国内外において自社開発品を中心としたマーケティング戦略に基づく普及・拡販に取組み、事業の拡大を図ってまいりました。

平成29年1月27日開催の当社第68回定時株主総会において、当社とイハラケミカル工業株式会社との合併契約について承認可決されました。今後は、経営統合によるシナジー効果を早期に最大化させるべく、5月1日の新会社発足に向けた諸準備に取り組んでまいります。

当グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、海外の主力製品で在庫調整の動きが影響したことなどから、124億6千8百万円、前年同期比39億4千2百万円(24.0%)の減となりました。損益面につきましては、売上高の減少及びイハラケミカル工業株式会社との合併に伴う費用の計上などから、営業利益は1億6千7百万円、前年同期比10億2千2百万円(85.9%)の減となりました。経常利益は、イハラプラス社の持分法による投資利益の増加や為替差益の発生もありましたが、13億3千2百万円、前年同期比3億6千万円(21.3%)の減となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億1千7百万円、前年同期比2億7百万円(16.9%)の減となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成29年10月期 第1四半期		平成28年10月期 第1四半期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化学品	11,385	91.3	15,379	93.7	△3,994	△26.0
賃貸	58	0.5	58	0.4	△0	△0.6
その他	1,025	8.2	973	5.9	52	5.3
計	12,468	100.0	16,410	100.0	△3,942	△24.0

## ① 化学品セグメント

国内販売部門の農耕地分野では、昨年から販売している水稲用除草剤「フェノキサスルホン剤」及び同剤と「ピリミスルファン剤」との混合新剤が前傾出荷されたことなどから、水稲用除草剤全体で前年同期を上回りました。一方、水稲用箱処理剤は、主力の「イソチアニル剤」が前年同期を下回りました。なお、園芸分野では、殺菌剤「ファンタジスタ剤」、「プロポーズ剤」及び、殺虫剤「スプラサイド剤」が堅調に推移したことから、いずれも前年同期を上回りました。

非農耕地向け薬剤販売や受託加工は好調に推移し前年同期を上回りました。

海外販売部門では、棉用除草剤「ステイプル」や除草剤「サターン」の米国での販売が好調に推移したものの、畑作用除草剤「アクシーブ剤」が在庫調整の影響で販売が減少し、さらに、昨年は上期に販売が集中したことから、前年同期を大きく下回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は113億8千5百万円、前年同期比39億9千4百万円(26.0%)の減、営業利益は4億4千万円、前年同期比7億9千8百万円(64.5%)の減となりました。

## ② 賃貸セグメント

賃貸セグメントの売上高は、引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、5千8百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は1億4百万円)、前年同期比0百万円(0.6%)の減、営業利益は6千6百万円、前年同期比0百万円(0.7%)の減となりました。

## ③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、流通事業及び印刷事業のいずれも、積極的な営業活動に取り組んだものの、売上、利益ともに前年同期を下回りました。一方、メガソーラー等による売電収入は好天に恵まれ売上、利益ともに前年同期を上回りました。以上の結果、その他全体の売上高は10億2千5百万円、前年同期比5千2百万円(5.3%)の増、営業利益は2千8百万円、前年同期比1千7百万円(38.4%)の減となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は927億3千1百万円で、前連結会計年度末に比べ91億2千3百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品並びに投資有価証券の増加が、現金及び預金の減少を上回ったことなどによるものです。

負債は344億2千9百万円で、前連結会計年度末に比べ80億8千5百万円の増となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金の増加が、未払金の減少を上回ったことなどによるものです。

純資産は583億2百万円、自己資本比率は59.1%、1株当たり純資産は689円02銭となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年10月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、平成28年10月期の決算発表時(平成28年12月16日)の業績予想から変更はありません。

なお、当社は、平成29年5月1日にイハラケミカル工業株式会社と合併する予定ですが、本合併による影響は織り込んでおりません。通期の業績予想につきましては、イハラケミカル工業株式会社との経営統合後に検討し、公表する予定です。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,789	5,560
受取手形及び売掛金	10,666	14,935
商品及び製品	8,967	12,680
仕掛品	3,195	3,266
原材料及び貯蔵品	1,442	1,489
繰延税金資産	681	736
その他	3,323	3,470
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	34,060	42,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,046	3,981
機械装置及び運搬具(純額)	1,915	1,841
土地	6,418	6,426
建設仮勘定	8	78
その他(純額)	491	478
有形固定資産合計	12,878	12,803
無形固定資産	301	294
投資その他の資産		
投資有価証券	35,413	36,576
繰延税金資産	304	300
退職給付に係る資産	1	—
その他	651	624
投資その他の資産合計	36,369	37,501
固定資産合計	49,548	50,597
資産合計	83,608	92,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,026	12,430
短期借入金	5,570	11,275
未払金	1,614	984
未払法人税等	98	240
賞与引当金	655	242
受託試験関連損失引当金	70	70
その他	488	449
流動負債合計	17,521	25,689
固定負債		
長期借入金	4,250	4,150
繰延税金負債	1,487	1,623
役員退職慰労引当金	330	228
退職給付に係る負債	2,463	2,454
資産除去債務	37	37
その他	255	247
固定負債合計	8,822	8,740
負債合計	26,344	34,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	5,029	5,029
利益剰余金	44,805	45,180
自己株式	△1,566	△1,566
株主資本合計	52,802	53,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,407	3,730
為替換算調整勘定	△2,034	△1,832
退職給付に係る調整累計額	△331	△316
その他の包括利益累計額合計	1,042	1,581
非支配株主持分	3,419	3,544
純資産合計	57,264	58,302
負債純資産合計	83,608	92,731

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	16,410	12,468
売上原価	12,916	9,787
売上総利益	3,494	2,681
販売費及び一般管理費	2,304	2,514
営業利益	1,190	167
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	51	165
持分法による投資利益	491	759
為替差益	—	213
その他	42	43
営業外収益合計	600	1,196
営業外費用		
支払利息	9	20
売上割引	5	5
為替差損	80	—
その他	4	7
営業外費用合計	98	32
経常利益	1,691	1,332
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	8	10
特別損失合計	8	10
税金等調整前四半期純利益	1,684	1,323
法人税等	404	188
四半期純利益	1,280	1,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,224	1,017



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	1,280	1,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△719	296
為替換算調整勘定	19	139
退職給付に係る調整額	14	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△990	147
その他の包括利益合計	△1,676	593
四半期包括利益	△396	1,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△445	1,555
非支配株主に係る四半期包括利益	49	172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	15,379	58	15,437	973	16,410	—	16,410
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	47	47	381	427	△427	—
計	15,379	105	15,483	1,354	16,837	△427	16,410
セグメント利益	1,238	66	1,304	45	1,349	△159	1,190

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△159百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	11,385	58	11,443	1,025	12,468	—	12,468
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	47	47	382	429	△429	—
計	11,385	104	11,489	1,408	12,897	△429	12,468
セグメント利益	440	66	506	28	533	△366	167

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△366百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。